

地下水位及び河川流量観測概要

1. 実施方針 ー地下水位等観測ー

溪流源頭部での地下水位および湧水量の変化を観測することにより、新斎苑等整備運営事業による周辺地下水に及ぼす影響の有無を判定する基礎資料を作成する。

1.1. 地下水位観測（1箇所）

降雨と地下水位応答を確認することを目的として、既設の地下水観測孔において自記水位計により地下水位を連続観測する。測定方法は市と協議の上、決定する。

1.2. 河川流量調査（6箇所）

溪流内の湧水点の下流において、河川流量の定期観測を最低月1回実施する。流量測定方法・回数および測定箇所は、市と協議の上、決定する。なお、調査に際して、水温、pHおよび電気伝導度等を現地で測定する。実施時は下記の通りとする。

- ①非出水時：無降雨が3～4日間連続した後(月1回)
- ②出水時：10mm/日以上の降雨が見られた場合は降雨後3日間(随時)

1.3. 測定結果の報告

測定結果を測定日翌日までに、市にメール等で速やかに報告する。報告の様式等は市と協議の上、決定する。

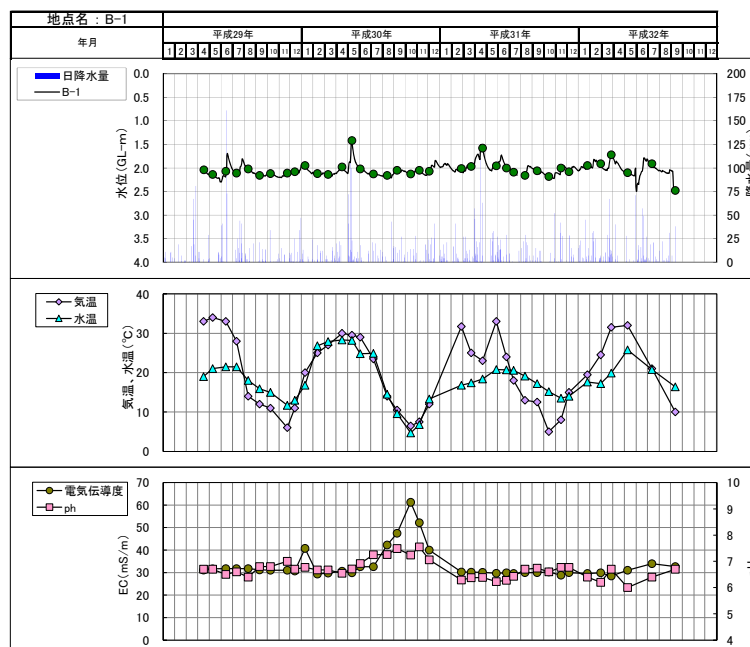


図 測定結果の整理例（イメージ）

○タンクを用いた流量観測実施例



○堰を用いた流量観測実施例

